

## 猪瀬直樹 プロフィール

1946年長野県生まれ。1983年に八瀬童子の民俗や森鷗外の「元号考」に言及した『天皇の影法師』で注目され、87年に『ミカドの肖像』で大宅壮一ノンフィクション賞、ジャポニズム研究学会特別賞を受賞。劇画『ラストニュース』（弘兼憲史・画）の原作をはじめ、『ペルソナ 三島由紀夫伝』『マガジン青春譜 川端康成と大宅壮一』『ピカレスク 太宰治伝』など作家評伝、日本の構造改革についての調査と分析『日本国の研究』（96年度文藝春秋読者賞受賞）など多彩な作家活動のほか、メールマガジン「日本国の研究 不安との訣別 / 再生のカルテ」(<http://www.inose.gr.jp/>)の編集長、日本ペンクラブ理事・言論表現委員長、政府税制調査会委員、財政制度等審議会委員、行革断行評議会委員も務める。

## テレビ出演等

フジTV系土曜日「情報プロジェクトS」(午前10時～11時30分)、日本テレビ「ニュースプラス1」(毎週午後5時40分～5時55分)のレギュラーコメンテーター。

ニッポン放送「高島ひでたけのお早よう! 中年探偵団」(金曜朝7時～7時25分)にも出演中。

そのほか「朝まで生テレビ」など随時出演。

## 最近の活動

週刊文春のコラム「ニュースの考古学」は連載が11年目に入る。

慶應大学メディアコム研究所で木曜日午後4時20分より毎週講義中。

国際日本文化研究センター客員教授、東京大学客員教授。

## 著作

『猪瀬直樹著作集 日本の近代(全12巻)』を刊行開始。第一巻『構造改革とはなにか 新篇 日本国の研究』は9月20日発売。

手に入りやすい本としては、『僕の青春放浪』『黒船の世紀』『唱歌誕生』『日本国の研究』『ペルソナ 三島由紀夫伝』(以上、文春文庫)、『小論文の書き方』(文春新書)、『明日も夕焼け』(朝日新聞社)、『天皇の影法師』(朝日文庫)、『マガジン青春譜』『ピカレスク 太宰治伝』(以上、小学館)など。